

2012世界ろう者卓球選手権大会報告書

①大会の概要

1) 大会名称

2012 世界ろう者卓球選手権大会
(2012 World Deaf Table Tennis Championships)

2) 開催目的

国際競技大会の開催により、デフリンピック及び国内外のろう者スポーツへの国民の理解を深め、国内のろう者スポーツの競技人口を拡大するとともに、そのスポーツ環境の整備の促進を図る。また、この大会を通して、国民へのろう者に対する理解を促進する。

3) 大会期日

2012年4月29日(日)～5月6日(日)

4) 大会主催・主管

主催：国際ろう者スポーツ委員会
主管：2012世界ろう者卓球選手権大会組織委員会
(財団法人全日本ろうあ連盟、一般社団法人日本ろうあ者卓球協会、社団法人東京都聴覚障害者連盟)

5) 開催地(国名、都市名、会場名)

日本・東京都
会場：国立オリンピック記念青少年総合センター・
スポーツ棟

6) 大会規模(参加国、参加選手、参加役員数など)

参加国：16の国と地域
中華人民共和国、チャイニーズタイペイ、チェコ、
イングランド、ハンガリー、イラン、日本、大韓民国、
リトアニア、モンゴル、ポーランド、ロシア、
南アフリカ、スウェーデン、トルコ、ウクライナ
参加選手：81人
参加役員：45人

7) 日本代表名簿

○スタッフ

監督：佐藤 真二 [東京都]
協和発酵キリン株式会社卓球部監督
一般社団法人日本ろうあ者卓球協会強化本部長
コーチ兼アドバイザー：西村 卓二 [千葉県]
東京富士大学卓球部監督

コーチ：内山 敏彦 [茨城県]

日立化成工業株式会社卓球部監督

コーチ：青山 修 [千葉県]

一般社団法人日本ろうあ者卓球協会理事
社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会

コーチ：須藤 聡美 [埼玉県]

一般社団法人日本ろうあ者卓球協会強化本部付

総務：伊藤 真紀 [秋田県]

一般社団法人日本ろうあ者卓球協会理事
一般社団法人秋田県聴覚障害者協会

総務：上江洲 光彦 [沖縄県]

一般社団法人沖縄県聴覚障害者協会

総務：牧山 洋子 [群馬県]

群馬県聴覚障害者団体連合会

総務：宮下 直樹 [神奈川県]

神奈川県聴覚障害者連盟

トレーナー：中島 幸則 [千葉県]

帝京大学医療技術学部 スポーツ医療学科 准教授

トレーナー：鹿本 風花 [千葉県]

帝京平成大学現代ライフ学科 3年生

手話通訳：井出 敬子 [神奈川県]

手話通訳：豊島 絵美子 [東京都]

○男子選手

梅村 正樹 [北海道] 社団法人北海道ろうあ連盟

望月 翔太 [神奈川県] 神奈川県聴覚障害者連盟

有馬 歆生 [神奈川県] 神奈川県聴覚障害者連盟

西本 怜王 [広島県] 一般社団法人広島県ろうあ連盟

○女子選手

上田 萌 [茨城県] 社団法人茨城県聴覚障害者協会

佐藤 理穂 [東京都] 社団法人東京都聴覚障害者連盟

有馬 千寿子 [神奈川県] 神奈川県聴覚障害者連盟

高岡 里吏 [千葉県] 社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会

8) 日本代表の戦績

○団体戦

男子…5位

女子…金メダル

○男子ダブルス

梅村・有馬組…ベスト8

望月・西本組…ベスト16

○女子ダブルス

上田・佐藤組…金メダル

有馬・高岡組…初戦敗退

○混合ダブルス

望月・佐藤組…ベスト8

梅村・上田組…ベスト8

有馬・有馬組…ベスト16

西本・高岡組…初戦敗退

○男子シングルス

望月選手…ベスト8

梅村選手…決勝トーナメント進出 1回戦敗退

西本選手…決勝トーナメント進出 1回戦敗退

有馬選手…予選リーグ敗退

○女子シングルス

上田選手…金メダル

佐藤選手…銀メダル

高岡選手…決勝トーナメント進出 1回戦敗退

有馬選手…決勝トーナメント進出 1回戦敗

9) 大会記録

○男子団体戦

1位 中華人民共和国

2位 リトアニア

3位 大韓民国

4位 ロシア

5位 日本

6位 ウクライナ

○女子団体戦

1位 日本

2位 中華人民共和国

3位 ウクライナ

4位 ロシア

5位 大韓民国

6位 トルコ

○男子ダブルス

1位 Wang / Zhang (中華人民共和国)

2位 Lee / Park (大韓民国)

3位 Juchna / Takinas (リトアニア)

4位 Wen / Wang (チャイニーズタイペイ)

梅村・有馬組…ベスト8

望月・西本組…ベスト16

○女子ダブルス

1位 上田 / 佐藤 (日本)

2位 Lin / Mao (中華人民共和国)

3位 Shi / Huang (中華人民共和国)

4位 Vasylyeva / Simyryakina (ウクライナ)

有馬・高岡組…初戦敗退

○混合ダブルス

1位 Wang / Shi (中華人民共和国)

2位 Li / Huang (中華人民共和国)

3位 Zhang / Lin (中華人民共和国)

4位 Lee / Jung (大韓民国)

望月・佐藤組…ベスト8

梅村・上田組…ベスト8

有馬・有馬組…ベスト16

西本・高岡組…初戦敗

○男子シングルス

1位 Wen (チャイニーズタイペイ)

2位 Wang (中華人民共和国)

3位 Juchna (リトアニア)

4位 Li (中華人民共和国)

望月選手…ベスト8

梅村選手…決勝トーナメント進出 1回戦敗退

西本選手…決勝トーナメント進出 1回戦敗退

有馬選手…予選リーグ敗退

○女子シングルス

1位 上田 (日本)

2位 佐藤 (日本)

3位 Shi (中華人民共和国)

4位 Kondratova (ロシア)

上田選手…金メダル

佐藤選手…銀メダル

高岡選手…決勝トーナメント進出 1回戦敗退

有馬選手…決勝トーナメント進出 1回戦敗

10) 日本代表詳細結果

○男子団体戦

・第1ステージ

[第4グループ第1ラウンド]

日本 3-0 ハンガリー

[第4グループ第2ラウンド]

日本 0-3 リトアニア

[第4グループ第3ラウンド]

日本 3-0 イラン

・第2ステージ

[準々決勝戦]

日本 0-3 中華人民共和国

[5-8位決定戦]

日本 3-0 ポーランド

[5-6位決定戦]

日本 3-2 ウクライナ

○女子団体戦

・第1ステージ

[第1ラウンド]

日本 3-0 大韓民国

[第2ラウンド]

日本 3-0 ウクライナ

[第3ラウンド]

日本 3-0 トルコ

[第4ラウンド]

日本 3-2 ロシア

[第5ラウンド]

日本 3-2 中華人民共和国

○男子ダブルス

[1回戦]

梅村 / 有馬 4-0 Oh / Lee (大韓民国)

望月 / 西本 4-3 Meyers / Calloway (イングランド)

[2回戦]

梅村 / 有馬 4-0 Bezdenezhnyy / Kulakov (ロシア)

望月 / 西本 2-4 Li / Yang (中華人民共和国)

[3回戦]

梅村 / 有馬 2-4 Wang / Zhang (中華人民共和国)

○女子ダブルス

[1回戦]

上田 / 佐藤 4-0 Antipova / Ivanova (ロシア)

有馬 / 高岡 3-4 Kondratova / Shagieva (ロシア)

[2回戦]

上田 / 佐藤 4-1 Khodko / Starikova (ウクライナ)

[準決勝戦]

上田 / 佐藤 4-2 Shi / Huang (中華人民共和国)

[決勝戦]

上田 / 佐藤 4-3 Lin / Mao (中華人民共和国)

○混合ダブルス

[1回戦]

西本 / 高岡 0-4 Chernyak / Khodko (ウクライナ)

望月 / 佐藤

有馬 / 有馬 4-0 Wang / Chen

(チャイニーズタイペイ)

梅村 / 上田 4-0 Helus / Mazuchova (チェコ)

[2回戦]

望月 / 佐藤 4-1 Veliiev / Starikova (ウクライナ)

有馬 / 有馬 3-4 Zhang / Lin (中華人民共和国)

梅村 / 上田 4-1 Park / Kim (大韓民国)

[準々決勝戦]

望月 / 佐藤 1-4 Lee / Jung (大韓民国)

梅村 / 上田 0-4 Wang / Shi (中華人民共和国)

○男子シングルス

・予選リーグ

[7グループ] 予選3位: 2敗

有馬 0-3 Bezdenezhnyy (ロシア)

有馬 2-3 Kratochvil (チェコ)

[10グループ] 予選2位: 1勝1敗

西本 0-3 Chernyak (ウクライナ)

西本 3-1 Gilmour (イングランド)

[11グループ] 予選1位: 2勝0敗

梅村 3-2 Mohseni Ahangar (イラン)

梅村 3-0 Calloway (イングランド)

[14グループ] 予選1位: 3勝0敗

望月 3-0 Szeliga (ポーランド)

望月 3-0 Chiang (チャイニーズタイペイ)

望月 3-1 Lee (大韓民国)

・決勝トーナメント

[1回戦]

梅村 0-4 Wang (チャイニーズタイペイ)

西本 0-4 Lee (大韓民国)

望月 4-2 Ziziunas (リトアニア)

[2回戦]

望月 4-0 Kratochvil (チェコ)

[ベスト8]

望月 0-4 Wang (中華人民共和国)

○女子シングルス

・予選リーグ

[2グループ] 予選1位: 2勝0敗

上田 3-0 Karpuz (トルコ)

上田 3-0 Simyryakina (ウクライナ)

[5グループ] 予選1位: 3勝0敗

佐藤 3-0 Starikova (ウクライナ)

佐藤 3-0 Yamanel (トルコ)

佐藤 3-2 Kim (大韓民国)

[6グループ] 予選2位: 2勝1敗

有馬 0-3 Kondratova (ロシア)

有馬 3-0 Akyaz (トルコ)

有馬 3-1 Jung (大韓民国)

[8グループ] 予選2位: 2勝1敗

高岡 1-3 Khodko (ウクライナ)

高岡 3-0 Shagieva (ロシア)

高岡 3-0 Kim (大韓民国)

・決勝トーナメント

[1回戦]

高岡 0-4 Kondratova (ロシア)

佐藤 4-1 Vasylyeva (ウクライナ)

有馬 0-4 Khodko (ウクライナ)

上田 4-0 Kim (大韓民国)

[準々決勝戦]

佐藤 4-1 Lin (中華人民共和国)

上田 4-3 Mao (中華人民共和国)

[準決勝戦]

佐藤 4-1 Kondratova (ロシア)

上田 4-3 Shi (中華人民共和国)

[決勝戦]

上田 4-2 佐藤

はいけませんし皆感謝することが大切だと思います、この場を借りてご苦勞様でした。来年のデフリンピック、4年後の世界大会と目標がある中で強化と育成をどうコラボして行くかがポイントです、男子は若手のポテンシャルの高い選手の発掘、女子は上田・佐藤に続く選手の発掘と課題は多くありますが、強化本部と協会が協力して頑張ることが大切だと感じています。今、社会環境が厳しいなかでのろうあ者の練習時間の確保、練習場の確保等皆が抱えている問題を共有しながらひとつひとつクリアーにしていくことが一番大事なことです。折角の良い流れですので逆らわずに進んで行きたいです。

②監督報告

【監督：佐藤 真二 [東京都]】

1) 参加目的に対する成果・評価および今後の課題

金メダル2個を目標に掲げ1年以上前より強化合宿や東京選手権大会への参加、また選手としての最低限のルールの勉強会の実施等準備するべきことは十分にやって臨んだ大会でした。また、日本で初めてのろうあ者の大会と言うことで卓球協会だけでなく関係者と連携をして資金確保にもお手伝い出来たことは、自分自身の今まで経験したことのない経験ができたことは本当に良かったです。結果は金メダル3個獲得できたことは、とても評価して良いことだと思いますが、それ以上に会場に足を運んでくれた方々、パソコンで生ライブを応援してくれた方々に夢と希望と感動を与えることができたことは、メダルを獲得した以上に成果があり卓球以外のろうあ者へ何かメッセージを出せたものと確信をしています。まだまだろうあ者を取り巻く環境は厳しいのが現実です、今回の結果を良いステップとして卓球が各競技をリードできるように今後も微力ながら頑張りたいと思います。

2) 成績とその評価

女子については、成績にも表れているように文句の無い内容と結果でした、男子については、とても厳しい現実を観たのも本音のところですが、しかし、今ある力と技は、出し切れたことは良かったと冷静に分析をしているところです。

3) 役割の内容

企業は人なりと言うようにスポーツの組織(スタッフ)も同じで適材適所の人材を配置して戦うことが重要になります。特に総務の役割とコーチ陣の役割を明確にして戦うことが良い成果を出す近道だと感じています。今後更なる役割の明確さを打ち出すことが大切です。

4) 反省・まとめなど

今回の世界大会の誘致には、いろいろな方々が携わりましたが特に前会長の富田さんについては、2009年のデフリンピックから献身的に誘致活動にご尽力されたことは忘れて

③スタッフ報告

【コーチ：青山 修 [千葉県]】

1) 参加目標や役割に対する達成度・評価と今後の課題

まずは、全日本ろうあ連盟をはじめ、日本ろうあ者卓球協会、日本卓球協会、スポンサーの方々など応援してくださった皆様のおかげで、日本初の世界ろうあ者卓球選手権大会開催という大きな達成ができたことを心から感謝しております。改めて応援の皆さま、ご支援・ご声援をありがとうございます。

結果の通り、目標を超えて金3個の獲得が出来て良かったです。特に女子は上田選手と佐藤選手が実業団、大学の健闘者の中で、レベルの高い厳しい環境で練習・訓練をして来ました。

2) 役割の内容

佐藤監督の下でコーチを務めました。世界大会に向けての強化合宿で多球強化とフットワーク中心に強化してきました。

より上を目指す、人の役に立つように、一緒に選手の気持ちになって、個々による技術、モチベーションを高めていながら選手を育ててきました。

3) 反省・まとめなど

若手男子選手については色々なやり方がありますが、皆将来は仕事に就きますので、そんなに多くの時間を卓球に使うことはできません。強化本部が考える強化と選手が考える強化の温度差がどの程度あるのかを判断することが大切ではないでしょうか。まずは強化本部内で考えたい。通常の方とは、少し違う環境ですのでどこかで一度リセットが必要なのでしょう。それが来年のデフリンピックだと私は思っています。

【コーチ：須藤 聡美 [埼玉県]】

1) 役割

コーチとして男子団体のベンチ・及び個人戦のベンチに入り、選手が力を発揮できるようにサポートすること。

2) 参加目標・目的や役割に対する達成度

世界ろう者卓球選手権大会に向けて、強化合宿を行うなど準備を重ねてまいりました。大会では「日本チームで2つの金メダル獲得」の目標を掲げておりましたが、それを上回る3つの金メダルと1つの銀メダルを獲得できたことは大変嬉しく、選手・スタッフに感謝しています。

3) 反省

男子のメダルは逃しましたが、団体戦において5位～8位決定トーナメントで勝ち切り、5位に入賞できたことは良かったですし、同日午後の女子団体の中国戦に良い流れで繋げることができました。しかし、上位国との差は大きく、更なる上を目指すためには、体力・筋力面のレベルアップに加え、戦術の幅を持たせる工夫と新しい技術の獲得が必要であると感じています。

女子は一丸となり、金メダルを獲得することができました。気持ちを新たに挑戦者として来年のデフリンピックへ向けてのスタートを切りたいと思います。

大会期間中はアスレティックトレーナーの中島先生と生徒の鹿本様が帯同してくださったおかげで、選手の体の状態を保てました。今後も大きな国際大会に専門の方を帯同できるかは課題だと思います。

また、私自身もコーチとして向上できるよう勉強と経験を積み重ねてまいります。

4) まとめ

多くの方に会場にお越しいただき、ご声援は大きな力になりました。また、ろうの子どもたちに、選手の頑張る姿にふれて何かを感じていただけたら嬉しいです。卓球というスポーツの面白さに興味を抱いてくれたら幸いです。

多くの関係団体、ボランティアの方々をはじめ、皆様のご協力とご尽力のおかげで目標が達成できました。

心より御礼を申し上げます。

【総務：伊藤 真紀 [秋田県]】

1) 参加目標や役割に対する達成度・評価と今後の課題

第2回世界大会が日本（東京）で開催される事が2年前に決定されていたが、2011年3月11日に東日本大震災にみまわれ、大会中止の危機から一転開催遂行と決定。その短期間の準備でよく開催したものと感動しました。しかも参加国が前回の世界ブルガリア大会よりも少ない16ヶ国の参加に

も拘らず、大いに盛り上がったのは、予想以上の観戦者と、全日本ろうあ連盟の献身的協力、日本卓球協会、都卓球連盟の大いなる協力のおかげであり、大会を大成功裏で終えることができ、選手及びスタッフ一同は大感激しました。

ろうあ者卓球協会としても自分たちで国際大会を開催したという大きな自信を得ることができ、大観衆の中でプレイできた選手達も幸せを感じたと思いますし、ろうスポーツの発展に少しは貢献できたかなと思いました。又マスコミ、報道関係者の連日のインタビューにはうんざりすることも有ったかと思いますが、これもろうスポーツ、ろう卓球協会の為とよく対応してくれたと思います。総務としては成績も気になるのですが、このようなマスコミの対応こそが将来のろうスポーツの発展につながるものと思われまふ。最終時間(午後6時)に試合した後なのに明るく対応できたことは、報道されるだろうし、国内に感動をよぶだろうし、ろうスポーツ界にも大きな影響を与えたのではないかと思います。

さらに、大会運営には多くのスポンサー、多数のボランティアの協力があり、すばらしい大会だったと思う。又、女子団体に秋篠宮様がおいでいただき、さらに金メダル獲得により後日に皇室にて謁見の機会に恵まれたのは、この上のない名誉とひたすら感謝を申し上げます。

2) 役割の内容

総務としては選手の昼食、夕食等の準備には、個人戦もあることから選手団そろっての食事は難しいと予測、各自での食事で選手の自主性をもたせました。実際ホテルに帰る時間が遅くなる選手もおり、体調管理が心配でした。このことから交通はタクシーで対応するとし、監督以下スタッフ団会議で申し合わせた。

4/27 新宿ワシントンホテル午後2時集合後、選手各自の部屋確認と荷物を置いてから日当、旅費等を支給した。これで大会中の昼食、夕食を各自で摂るよう指示しました。選手一人一人の試合開始時間や終了時間がまちまちの事から団体に纏まっての食事は厳しいと判断した。次に報道関係には充分注意し、笑顔で対応する事、荷物が多いことからタクシーの移動を認め、経費節約から乗りあうように説明指示しました。又、体調不調時には即報告とドーピング対策のために市販のサプリメントや薬品には充分に注意するよう呼びかけた。

4/28 公開練習の為、会場地へ。本番に備え会場までの交通時間と大会の雰囲気、総務としての準備する物の確認をする。午後からTD会議出席、日本人審判長であった事から説明がわかり易くスムーズに進み、ほぼ時間通りに終わりました。特に反論がなかったことから、通訳の配置と組合せ説明準備等が旨く進んだのは、実行委員会の通訳配置の気配りが良かったためと感謝しております。

4/29 午前中開会式、午後から団体試合開始、1日目の終

了後とは言え、早くもインタビューがあり予想通り午後7時過ぎとなる。

4/29～5/1 団体戦予選と決勝トーナメント、秋篠宮様が見られることから手旗の国旗を準備し応援の方々のために選手のコメントを載せたミニ速報を作成し応援参加者に配布した。この頃から会場雰囲気が盛り上がりインタビューや来場者が増え、選手への差し入れも出てきた。後日にお礼状を出す為に差し入れ一覧表を作成した。

5/2 個人戦のTD会議、2回目のことから比較的スムーズに進み、日本にとってはベストな組合せだったと思う。又大会からのミネラルウォーターのサービスがあり大いに助かった。

5/3～5/5 個人戦が始まる。選手監督等が控え所から各コートに散ることから防犯として荷物の管理する。又テレビ報道によりマスコミ関係者が更に増えてきた。組み合わせによっては試合開始時間が午後6時からのももあり、試合終了後は早めにホテルにかえし体調を崩さないよう配慮した。

3) 反省とまとめ

今回は、日本国内開催と医療関係の意識がポイントでした。

日本デフスポーツで初めて自国で世界選手権大会が開催されたことで、予想以上の報道があり試合後のインタビューで帰る時間が夜の7時、8時と遅くなり、それからホテルへ電車で帰るのは選手スタッフの肉体的精神的疲労が大きくタクシーで帰らせたのは正しい判断と思う。又、食事でも国内である事も併せ各自ですませたことも、助かりました。

薬物検査の実施を予測したものの会場には検査室がなく、実施する、しないにこだわってしまった状況になりドーピングについて説明不足になってしまった。20日後に開催するアジア太平洋ろう者競技大会が迫っており、不確定の薬は飲まないことの一点になってしまった。又今回体調不良者が出なかったことは幸いでしたが、マッサージトレーナーに頼りっぱなしの面がでてしまい、疲労肉体回復のためには選手自らもストレッチ等を行うという意識と行動がみられなかったのは、総務の指導不足だった。

今大会の充分な反省と見直し等を考える時間がないまま、次のアジア大会にむかなければならず、1ヶ月に二度の国際大会に出ることの難しさを感じました。

【総務：牧山 洋子 [群馬県]

1) 参加目標や役割に対する達成度・評価と今後の課題

第一の目標は、第7回アジア太平洋ろう者競技大会の日本代表選手として、事前に各国選手の情報収集、分析及び国際大会の雰囲気を知るためです。

第二として、日本代表選手が良い環境で競技に専念し、1

20%の力を発揮できるよう入念に準備しサポートする。そして、写真撮影等協力することでした。

2) 役割の内容

私個人として国際大会は初めての経験であり、国際大会とは…、雰囲気は…、各国のレベルは…、楽しみとともにスタッフとしてどのように動けば良いのか不安が多々ありました。しかし、今大会は日本国内開催ということで、周りの実行委員や、関係者の協力でスタッフとしておおいに助けられました。選手達、そして監督・コーチの指示で準備が万全に行えるよう、暑さ対策の氷の手配、荷物等…、選手達が体力的・精神的に和らげるように努めました。またコーチが代表選手への試合アドバイスとかち合ったため、TD会議に出席の経験もさせて頂きました。組み合わせの確認、各国の状況を知ることが出来、貴重な体験でありました。試合中は、各国選手の技術レベルを観察することで、自分のプレーでどれだけ通用するのか、後のアジア大会に向けて頭の中でイメージしながら作戦を組み立てていました。

3) 反省とまとめ

日本開催ということもあり、役員や大会を支えている実行委員、卓球協会関係者、多くの報道関係者取材陣に囲まれて、選手達の極度の緊張感が私にも伝わってきました。

その中でも堂々としたプレー姿、勝っているときも負けているときも常に前に向かって頑張る、勝つという執念深い試合を見て、パワーをいただきました。

全体的に見ますと、韓国のジュニア選手の活躍に驚いています。昨年11月親善強化試合に参加させていただいた時よりも戦術面での著しい成長を見せつけられ日本選手を脅かす存在になってきていると感じました。

私的な見解で申し訳ありませんが、日本代表選手でも国際大会を間近に控えての強化合宿や短期合宿という計画ではなく、時間の許す限り中期ビジョン計画を取り組む必要ではないかと思います。そのためにはまず、トレーナーの物色、総務的なスタッフなどを早いうちに（最低でも1～2年前）取り組まなければならないと思います。また国際大会出場を目指している選手はもっとレベルの高い人と練習・交流し、国際試合の経験を積む必要があると感じています。スタッフや代表選手が「井の中の蛙大海を知らず」ですと、国際大会で取り残される懸念があります。そうならないためにも役員やスタッフが前面に押し出す必要性を感じました。

最後に、監督、コーチ、スタッフ、選手も含めてチームワークの良さは各国に比べ、華麗で素晴らしく非常に良かったです。その中で私を入れて学ばせて頂きありがとうございました。

【総務：宮下 直樹〔神奈川県〕】

1) 参加目標や役割に対する達成度・評価と今後の課題

選手が気持ちよく試合に臨めるように、全力で選手をサポートし、そして、世界に参加することによって様々なことを学ぶことが目標であり、目的である。

私はトレーナーとして参加しているので、選手の調子を上げることを第一に考え、きちんと練習相手になるように、常に一球一球集中して練習に臨んだ。

言われたことをきちんと遂行し、何か気づいたら、すぐに行動が移せるように心掛け、選手に負担をかけないようにスタッフで協力し合って物事を進めて行った。

このようにスタッフが協力し合って、選手をサポートしたからこそ、選手は万全な状態で試合に臨めることができ、立派な成績が収められたのではないかと私は思う。

今後の課題は、選手になってもスタッフへの感謝の気持ちを忘れてはならないことと、これからも、選手とスタッフが互いに協力しあい、より一層レベルアップを図ることであると私は思う。

2) 役割の内容

- ・選手の練習相手
- ・応援
- ・雑用

3) 反省とまとめ

今回、トレーナーとして参加をし、いろいろと学ぶことがたくさんあり、貴重な経験となった。選手としてではなく、トレーナーとして参加することは初めてであり、スタッフの仕事は大変であると身にしみた。スタッフ・トレーナーがいるからこそ、選手は万全の状態ですべてに臨めることができると改めて思った。スタッフの存在は大きいと今回参加して分かった。

私は選手として参加しなかったのが本音ですが、選手をサポートする方が大変だと分かり、いろいろと学ぶことがあったので、今回はトレーナーとしての参加で良い経験になったと思います。将来、代表選手になったら、スタッフへの感謝の気持ちを忘れてはならないと強く思った。何事も感謝の気持ちは大切だと改めて思った。

【手話通訳：井出 敬子〔神奈川県〕】

はじめに

選手、監督、スタッフが丸となり、金メダル2個獲得を目標に取り組みました。

日本チームはデフ選手8名、デフスタッフ2名、聴スタッフ4名、手話通訳2名という構成。また4人のデフ選手がトレーナー兼マネージャーとして動いてくれました。さらに、

地元開催ということで多くの日本人ボランティアに支えられた大会でもありました。これほど温かくステキな大会に携わることができて、私自身とてもうれしく思っています。

1) 役割の内容

○コミュニケーション保障

- ・ミーティング、アドバイス
- ・マスコミ対応
- ・その他（ホテルフロント等）

○その他

- ・組織委員会との連絡
- ・買い出し
- ・球拾い等

2) 課題

強化合宿からの積み重ねがあるので、大きなとまどいもなく仕事ができたとおもいますが、気になった点をいくつか記しておきます。

・ベンチ入りする手話通訳者の立場、役割の確認をお願いします。今大会においてその対応は審判にまかされていました。国際審判員として、通訳者がベンチ入りした試合の経験はないものと思われます。（他国チームも通訳者の存在は見当たりませんでした）

・手話通訳は使われる立場なので呼ばれたら動いてしましますが、会場には本部付き通訳やボランティア通訳もいたはず。役割分担が明確でなかったのか、棲み分けが出来ていなかったように感じました。混乱があった訳ではありませんが、日本チームに通訳者がいなかったために選手が言いたいことを我慢してしまったり、スタッフが指示を後回しにするようなことはあってはならないと考えます。

・学生選手の扱いについて。学生選手へのご家族のサポートを依頼しているということですが、強化合宿を含めてスタッフの対応が様々であったため、とても苦慮されている様子が見受けられました。今後、若手選手の育成にも力を入れていく中で、どこまでのサポートをご家族にお願いするのか、あるいはほしくないのか、早急にまとめる必要があります。

3) 反省・まとめ

多くの応援を力に、選手たちは期待以上の結果を出してくれました。中国を倒しての金メダルは名実ともに世界一です。これからは追われる立場になります。1年後に迫りくるデフリンピックに向けて、スタッフとしてもやり残したことがないように、仕事の内容、役割分担の再検証が急務であると思われれます。その中には、他国の情報収集も含まれます。

最後に、選手、監督、スタッフがよくまとまったいいチームでした。いい雰囲気そのままにアジア大会につなげられたと思います。手話通訳者もまたこのチームに育てていただいたこと、感謝しています。

【手話通訳：豊島 絵美子 [東京都]

1) 参加目標

選手が競技に集中できる環境を作ることを目指し、スタッフがスムーズなコミュニケーションをとれるよう手話通訳や各々への働き掛けを行う。ペア手話通訳者と常に連携をもち、手話通訳業務を行う。

2) 役割の内容

健聴の監督・コーチとろうのスタッフ（コーチを含む）・選手間のコミュニケーション支援。単に言語の変換に留まらず、場合に応じてその言葉に至るまでの思いや経過などを補足したり、スタッフの一員として通訳者の立場からの気づきを提案する。また、取材など必要に応じて外部の方との手話通訳を行う。

3) 反省・まとめなど

手話通訳が複数であることで、体力的に余裕を持てるだけでなく、通訳者としての動き方などを常に話し合って確認できたことは、精神的にとっても助かった。費用を考えると協会に負担をおかけしたと思うが、この場をお借りしてお礼を申し上げたい。また、合宿から帯同していたことも、選手やスタッフとのコミュニケーションがスムーズにとれた理由の一つと考える。特に、健聴の監督・コーチは、ろうの特性を常に理解しようとされ、その思いがろうのスタッフ・選手達に伝わっていたことが良いチームワークが築けた最大要因だと感じた。

また、競技のみならず、それ以外の時間における日本チーム、日本ろうあ者卓球協会、また日本のろうスポーツの発展のための佐藤監督のアドバイスは、今後のろう者自身による運営や発展に大きな示唆を与えて下さったと強く感じた。今後の参考につけ加えると、手話通訳者を帯同していたのは、日本のみであった。他国は、健聴コーチ・スタッフとろう者は主に口話や身振り、簡単な手話、或いは少し聞こえる難聴の選手が通訳をしているようであった。どのような方法が良いのかはメンバーによって異なってくると思うが、都度都度丁寧な振り返りをしつつ慎重な判断が必要になると考える。一通訳者として意見を言わせていただければ、単に言語の通訳だけであればその期間だけの通訳者でも構わないが、このような国際大会時には必ずそれ以外のプラスαが必要となり、臨機応変な対応が求められる。そのためには、大会前の合宿時・別の大会への参加時を含め、予め決まった通訳者がチームとして取り組めることが望ましいと考える。最後に、力を出しきった選手と、微力ではあったが今回、協力の機会を与えて下さった日本ろうあ者卓球協会に、改めてお礼を申し上げたい。ありがとうございました。

④選手報告

【男子選手：梅村 正樹 [北海道]

1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

世界ろう卓球選手権大会は最低でも銅メダルを狙うつもりでのぞみましたが、自分の力が十分発揮出来ず、何も出来ないまま終わってしまいました。台北デフリンピックに続いてメダルが0は情けないと思います。

2) 反省・まとめなど

アジア大会は世界大会よりメダルの可能性はあるので死に物狂いで取りに行きたいと思います。

【男子選手：望月 翔太 [神奈川県]

1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

参加目標

- ・日本代表の一員としての自覚を持って、行動を心がける。
- ・挨拶やマナーをきちんと行う。
- ・応援、サポートされている方への感謝の気持ちを持って、プレーすること。

目的に対する達成度・評価

- ・感謝の気持ちを持って、全力でプレーすることができた。
- ・自分のプレーを出して、ベスト8という成績を残せた。

今後の課題

今回シングルスでベスト8に入れたが、中国や台湾、韓国、リトアニア等とはまだまだ力の差がある。団体戦やダブルスも思い通りの成績ではなかったので、自分のプレーにおいて全てに課題が残っている。その課題の一つひとつ改善していくよう、練習やトレーニングを継続的に続けていきたい。

2) 反省・まとめなど

今回メダルを取ることはできなかったが、たくさんの方から応援やサポートを頂いて、大変感謝している。今後とも感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたい。

自分の卓球においてもまだまだ未熟なので、満足せず、上を目指して練習やトレーニングをしっかり取り組んでいきたい。

【男子選手：有馬 歓生 [神奈川県]

1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

世界大会に出場してメダルを獲得することが目標だったのに対して、結果は団体戦5位、男子ダブルスベスト8、混合ダブルスベスト16、シングルス予選リーグ敗退のためメダル獲得になりませんでした。

特に男子ダブルスはベスト8で中国に対戦しあと一歩というところで敗れました。しかし、対戦した中国が優勝だった

ため、実力的に差がなく自分も上に行けると自信になったと思います。中国に勝つためには早い打点で威力のあるボールが打てるようにならなければいけませんので、一から基本を磨きたいと思います。

2) 反省・まとめなど

世界大会は国内での国際大会だったため、友人や家族たちに応援に来ていただきました。舞い上がってしまったところもありましたが、最後まで応援してくれてとても力になり、感謝の気持ちになりました。しかし、応援のみなさんに対してメダルを獲得することができなかったのが心残りです。世界大会は非常にレベルが高いので、また次回も出て、メダルを獲得して日本に見せたいと思います。

【男子選手：西本 怜王 [広島県]

1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

今回初めて世界ろう者卓球選手権大会に出場しました。私の目標は、全ての種目においてベスト8でした。ベスト8入りしたらデフリンピック出場資格を得る事が出来るので私は頑張りましたが結果は全ての種目においてベスト8入り出来ませんでした。とても悔しかったです。それと、緊張して全ての力を発揮出来ずに終わってしまったこともとても悔しかったです。

私の今度の課題はふたつあります。ひとつめは、緊張をプラス思考に変えることです。ふたつめは、フットワークです。

2) 反省・まとめなど

今回の世界ろう者卓球選手権大会での反省は、試合内容です。初めての世界ろう者卓球選手権大会で緊張して思うようにプレーが出来ないときに気持ちを落ち着かずにプレーを続けてしまったことで、自分のプレーが出来なかったことです。

次の国際大会の時までに腕を磨いて今回の世界ろう者卓球選手権大会で経験した悔しさを全て次の国際大会にぶつけたいです。

【女子選手：上田 萌 [茨城県]

1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

参加目標：結果はもちろん、まわりの支援や応援をパワーに変えて自分の力をすべて発揮できるよう頑張る。

達成度：自分の持っている力をすべて出し切ることができた。そして三冠という最高の結果を残すことができた。

今後の課題：結果はよかったが、内容がよくない面がいくつかあったし、技術面においてまだまだ課題がたくさんあるので、ひとつずつ克服できるよう頑張りたい。

2) 反省・まとめなど

今回は日本で開催されたのもあって、多くの支援や応援がありました。そのお陰で苦しい試合を乗り越え、三冠という最高の成績を収めることができました。本当にありがとうございました。

内容については、まだまだ課題点がたくさん有るので、一つずつ克服できるよう努力していきたいです。

【女子選手：佐藤 理穂 [東京都]

1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

今回の世界大会は東京で開催されるという事で、プレッシャーなどはありませんでしたが、それを楽しみに変えながら2つ以上金メダルを獲得し、応援してくださっている人々に少しでも感動を与えられるようにという事と、ライバルの中国に今回こそ勝つという気持ちを持ち、自分のプレーを精一杯出せるように試合に望む事に参加目標し、その結果、金メダル2個以上獲得でき、本当に嬉しかったです。そして皆さんにも少しは感動を与えられたかなと私は思いました。試合の方は今回は技術面にしても精神面にしても自分なりにやらなくてはならないことはやったと思いますが、最終的には体力面ではまだ足りないと感じたので、体づくりが今後の課題だと思います。もちろん精神面も技術面も今より以上磨き、次の大会ではさらにいいプレーが出来るように頑張りたいと思います。

2) 反省・まとめなど

こうして金メダルを獲得できたのは、監督、スタッフ、選手と力を合わせて頑張ってきたのもあり、また応援してくださった方々のお陰でもあります。一本一本人声援して下さったのが、私の心に伝わりました。本当に有難うございました。これからは私達日本が追いつかれる立場になると思いますが、それでも私達は、チャレンジする気持ちで頑張りたいと思います。

本当に応援してくださった方々、監督、スタッフ、そして一緒に頑張ってきた選手の皆さん本当に有難うございました。

【女子選手：有馬 千寿子 [神奈川県]

1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

日本卓球王国復活の為に金メダルをより多く取得する事が我々の目標である。自分の技術でどこまで通用出来るか試すのも参加目標の一つである。

女子団体等で金メダルを取得出来たのはとても大きく日本に貢献出来たと思います。

カットマン同士の対戦に積極的に攻撃を取り入れるようにする事。またドライブにおいて腰をひねって打つ、フォアツツ

ツキ、アンチを使っのフォアツツキの打つタイミングに気をつける事が今後の課題である。

2) 反省・まとめなど

足の動きがなっていない為、スタートが遅れたり、台上ツツキの凡ミスが目立ったのもっと前後にフットワークを取り入れるなどしなければならぬと思いました。

また攻撃力が足りなかった部分があり、普段の練習のようにタイミングを計らうなど自信を持って打てるようにしたい。中国との団体戦での三番、女子、ミックスダブルスでフルセットの末、惜しくも負けてしまったのがとても悔いが残りました。シングルスでは前回の成績より落ちてしまい何がいけなかったのかを追及し、一から出直したいと思います。

【女子選手：高岡 里吏 [千葉県】

1) 参加目標に対する達成度・評価と今後の課題

女子ダブルス戦と混合ダブルス戦は、残念ながら初戦負けでしたが、初めてながら良い経験になりました。

個人戦ではベスト16まで行き、個人的には目標を達成できたと思います。

今後の課題は、レシーブやサーブを工夫して、良いプレーできるように練習を積み重ねていきたいと思います。

2) 反省・まとめなど

初めての世界ろう者卓球選手権大会に参加して、日本代表としての自覚、マナーを学んだと思います。

他国との交流も出来てよかったです。



⑤記録写真



梅村選手



男子チームベンチ



女子チームベンチ



高岡選手



女子団体戦 金メダルを決めた瞬間



女子団体戦表彰式



混合ダブルス (梅村&上田組)



混合ダブルス (西本&高岡組)



混合ダブルス（有馬&有馬組）



アドバイスをする佐藤監督と手話通訳の井出さん



マッサージをする中島トレーナー



男子ダブルス（梅村&有馬組）



女子ダブルス（上田&佐藤組）



男子シングルスベスト8入りを決めた望月選手



女子シングルス決勝戦 上田対佐藤



女子シングルス決勝戦を終えて